

2020年03月10日（火）【外為Lab】松田哲

タイトル：【新型コロナウイルスは、きっかけに過ぎない】

新型コロナウイルスの感染拡大を、きっかけにして、米国株式が大きく急落している。

米国株式の大幅な下落は、日本株の下落に波及し、日経平均株価も、2万円を割り込んだ。

米国株式が大きく急落したことで、米国は、緊急のFOMC（金融政策の会合）を開催して、緊急利下げ（政策金利の0.5%引き下げ）を断行した。

米国株式の急落や、日本株の急落は、「リスク・オフ（リスク回避）」を惹起し、外国為替市場での「ドル売り円買い」に波及した。

その上で、さらに原油価格が大きく急落している。

新型コロナウイルスの感染拡大が、世界経済を悪化させるので、原油の需要が減少するという発想から、原油価格の下落も、それ（新型コロナウイルス）がきっかけになった、と説明できる。

確かに、「きっかけ」は、それ（新型コロナウイルス）が原因と言えるのだろう。

しかしながら、米国株式の大幅な急落には、もっと根源的な理由がある、と考えている。

そもそも、ニューヨーク株価（ダウ平均）が3万ドル近辺にまで急騰したことが、バブルだったのではないかと考える次第だ。

リーマン・ショックが2008年だったことを思い起こせば、それ（リーマン・ショック）は、10年以上も昔のことだ。

マーケット（株式市場・外国為替市場など）では、10年に一度程度に、大事件が起こっている。

世界の株式市場や、外国為替市場、原油市場などが、今、大きく変動しているもの、そういった波動（周期）に過ぎないのではないかと考える次第だ。

原油価格の下落にしても、産油国の思惑の違いで、調整が付かないから、需給のバランスが維持できず、供給が過剰になり易いことが根底にある、と考えます。

新型コロナウイルスは、きっかけに過ぎない、と考えます。

ただし、時間が経過すれば、「リーマン・ショック」のように、「新型コロナウイルス・ショック」と呼称するようになるのかも知れません。

+++++

(2020年03月10日東京時間15:50記述)